

市民 ニュース

活動か・ボランティア



2006年 **10**月号

平成18年9月25日発行
通巻94号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
http://www.1.mienpo.net/npot
三重県のホームページ
http://www.pref.mie.jp

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります！

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／オールウェイズ(津センターパレス1階)／津中央郵便局ボランティアコーナー／(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●特定非営利活動法人みえきた市民活動センター ●四日市市●四日市市民活動センター／寺子屋プロジェクト ●鈴鹿市●市民活動情報ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中京大学／松阪市市民活動センター／松阪まちづくりセンター『まちの駅松阪「寸庵」』 ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／伊勢市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾート赤目の森／名張市市民活動センター／くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウィリアム テルス・アップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町●明和町市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南勢町市民活動室連絡協議会

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店

【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県民サービスセンター(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／齋宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンドみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町役場

子どもの心を受け止める子ども専用電話チャイルドライン24 ～受け手養成のための講習会～(平成18年度)

指示しない、指導しない、かけ手の心に寄り添い耳を傾け、かけ手の主体性を大切にしたい電話です。あなたも講習会に参加し、ボランティアとして受け手をしてみませんか？受け手を希望される方は、指示しない指導しないでひたすら子どもの心を受け止め傾聴するチャイルドライン24の趣旨に賛同される方とします。原則として全単位履修が条件です。講習会の他研修会等を行いますので必ずご参加ください。受け手になれるのは15歳(高校生世代以上)からです。なお、11月19日午前中の講座は、公開講座となります。(合計240名を予定)たくさんの方のご参加をおまちしています。

【プログラム】

11月5日(日)	10:00~12:00	「チャイルドラインとは」 (特)MIEチャイルドラインセンター 代表理事 田部真樹子氏
	13:00~15:00	「子どもの権利条約」 早稲田大学文学部教授 喜多明人氏
11月12日(日)	10:00~12:00	「エンパワメント」 エンパワメントみえ代表 志治優美氏
	13:00~16:30	「性と自立」 性教育・人権教育ネットワーク「地域と家庭と学校と」代表 竹内未希代氏
11月19日(日)	10:00~12:00	公開講座 「子育てはなぞとき～不登校から見えるこどもの姿～」 心理カウンセラー 内田良子氏
	13:00~15:00	「思春期外来」 奈良県立医科大学教授 飯田順三氏
11月26日(日)	10:00~12:00	「聴くこと」 南山大学教授 山口真人氏
	13:00~16:00	「ロールプレイ」 南山大学教授 山口真人氏
12月17日(日)	10:00~12:00	「虐待」 知的障害者更生相談所主幹 井上良純氏
	13:00~16:00	「依存症」 (特)三重ダルク 市川岳人氏

●ところ／三重県津総合庁舎大会議室(予定)、11月26日のみアスト津4階研修室A

●参加費／大人8,000円(定員90人)、ユース(12歳～25歳まで)3,500円(定員30人)
1プログラムのみ2,000円

●問い合わせ先／514-0125 津市大里窪田町2709-1 MIEチャイルドラインセンター内「チャイルドライン24」実施組織 Tel.&Fax.059-211-0024 E-mail jisshi@childline24.net

【みえ県民交流センター あり方検討会を開催します。】

平成13年からボランティア・市民活動の場として提供してきたみえ県民交流センターのあり方について話し合う検討会を以下の日程で開催します。参加は自由ですので、多くの方のご参加をお待ちしています。

●とき／10月19日(木) 19:00~21:00

●ところ／みえ県民交流センター交流スペース(津市羽所町700アスト津3階)

●内容／(1)指定管理者の導入等管理のあり方について(2)その他

●問い合わせ先／三重県NPO室 Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5971

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

●主催・問い合わせ先／三重要約筆記サークル「津あみ〜ご」(担当:小柴恵子) Tel.059-268-0045 Fax.059-268-4010

モーツァルト生誕250年フォト紀行

●とき／10月16日(月)～25日(水) 9:00～17:00(日、祝休み)

●ところ／ギャラリー茶気茶気(JR亀山駅前 亀山茶農業協同組合直売所内)

●内容／モーツァルトがザルツブルクから音楽活動に出た主な都市の写真とモーツァルトの名曲のハイライトを聴きながら楽譜などと一緒に展示します。

●問い合わせ先／Tel.0120-188239(フリーダイヤル) 0596-82-0429



ザルツブルクのモーツァルトの生家

●内容／どんぐりクラフトや秋の里山の果物採り(あけび、栗など)、焼きいも、棒焼きパン、ゴミ拾いなどを行います。

●応募期間／10月2日(月)～10月13日(金)

●申込・問い合わせ先／514-0823 津市半田603-1 Tel.059-226-7645

●主催／NPO三重の里山を考える会、津市野外活動センター、生活協同組合コープみえ

「能『絵馬』と斎宮」展関連行事

【能『絵馬』レクチャー講座】

●とき・ところ・募集人数／10月21日(土)

〈午前の部・120人〉10:00～11:30 斎宮歴史博物館講堂(明和町竹川503)

〈午後の部・350人〉14:00～15:30 男女共同参画センター多目的ホール(津市一身田上津部田1234)

●参加費／無料 ●応募締切／10月11日(水)当日必着

【能『絵馬』散策ツアー】

●とき／11月4日(土)13:00～15:00

●ところ／斎宮跡無料休憩所集合(明和町斎宮2969-4)※近鉄斎宮駅北側

●参加費／受講料100円(保険料等)

●募集人数／60人(抽選)

●応募締切／10月22日(日)当日必着

●申込方法／ハガキ、Fax、E-mailに住所・氏名・電話番号・参加希望事業(午前・午後の部も明記)を記入の上、三重県生涯学習センターまで。または、生涯学習センター窓口及び斎宮歴史博物館受付に設置の申込用紙でも可。

●問い合わせ先／津市一身田上津部田1234 三重県生涯学習センター Tel.059-233-1151 Fax.059-233-1155 斎宮歴史博物館 Tel.0596-52-3800

デートDV防止セミナー

「デートDV」って何? なぜ? どうしたらいい?

●とき／10月21日(土)9:30～12:40

●ところ／名張市武道交流館「いきいき」

(名張市蔵持町里2928番地)

●内容／デート相手や交際相手に対する暴力を「デートDV」と呼んでいます。若者たちが、暴力をふるったり、ふるわれたりせずに、相手を尊重する関係をつくれるようになるために、「デートDV」についての理解を深め、その防止に向けたプログラムを紹介し【第1部】は講演「デートDVとは」。【第2部】はワークショップ「デートDV防止プログラム」を行います。講師はNGOアウェア代表、山口のリ子さんです。なお、生後6ヶ月～就学前までを対象とした無料託児(要予約)があります。

●募集人数／【第1部】100人

【第2部】30人(応募者多数の場合抽選)

●応募締切／10月11日(水)必着

●申込方法／住所・氏名・連絡先を明記のうえ、郵便、Fax、E-mailのいずれかで。

●申込・問い合わせ先／518-8533 伊賀市四十九町2802 DVを考える会・いが(伊賀県民センター内)

Tel.0595-24-8137 Fax.0595-24-8010

E-mail gkenmin@pref.mie.jp

里山フィールドワーク(森の感謝祭)

●とき／10月21日(土)10:30～13:30

●ところ／津市野外活動センター

●参加費／200円 ●募集人数／30人

山づくり・家づくり体験ツアー

●とき／10月21日(土)

●ところ／電車の場合、松阪駅(JR側)8:30集合。車の場合、ウッドピア松阪コンビナート内スマッキー(松阪市木の郷町)8:40集合。

●参加費／1000円(昼食代・当日徴収)

●内容／県内で生育した木が住宅に使われるまでの一連の過程を知っていただくため、松阪市内の森林、製材工場・プレカット工場、木造住宅の各現場をご案内する見学会です。

●募集人数／先着60人 ●応募締切／9月30日(土)

●申込・問い合わせ先／津市桜橋1丁目104番地 三重県木材



これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。


ボランティア・市民活動団体の情報確認作業を行っています。ご回答いただいた方、本当にありがとうございます。

地域の団体情報を発信する取組は良く行われますが、この取組は定期的に登録団体情報を確認する作業が必要です。最新情報でないデータを提供取組をしていると団体への信頼感が薄れてきます。


事業を継続していくことは大変なことですが、地道な活動の積み重ねが団体の信頼感を高めることにつながります。しかし、会員が少なくなる等事業を継続できなくなる場合があります。「休止」にできないだろうかという相談も寄せられます。みんなの想いを集めてつくったNPO法人だけに解散に踏み切れないという気持ちは十分に分かります。特定非営利活動促進法には、「休止」という制度はありません。そもそも「休止」になった団体に新たに活動に参加を希望する人はどこに問い合わせたらいいのでしょうか? 「休止」中ですので、仮に問い合わせることができても、今後の活動予定もないわけ

です。活動が「休止」してしまえば、その活動でつながっていた人とのつながりはだんだん弱くなっていきます。最悪、会員や役員の連絡が途絶えて、意思決定をする総会も理事会も開催できなくなります。行政処分で法人格を「取消」されるより、最後まで組織として「解散」を選択する団体を支持したいと思います。仲間との人間関係まで壊れないうちに終了できれば、また新しい「はじめの歩」が踏み出せるのです。

末文になりますが、私は10月1日より1年半ほど育児休業に入ります。今後は、NPO室の堀木俊哉さんが後を引き継いでくれます。では、ちょっとのお別れです。また会える日を楽しみにしています。 三重県生活部NPO室 森下道大

 **鳥羽水族館に来て!見て!好きになろ!!**
～鳥羽水族館ジュゴンツアー

- とき/10月22日(日)13:00～16:00
- ところ/鳥羽水族館大水槽前集合
- 参加費/鳥羽水族館入館料+バックヤードツアー費用200円
- 内容/鳥羽水族館には世界で一番長く飼育されている雌雄2頭のジュゴンがいます。また、沖縄には生息数わずか数十頭と考えられる野生のジュゴンがいます。野生ゆえなかなか会うことは叶いませんが、ジュゴンがもっと身近な動物として大切に保護されることを願います。まずは鳥羽水族館に来てジュゴンを好きになってください。現在・過去・未来のジュゴンファン集まれ!!当日は浅野四郎副館長さんのジュゴン飼育31年のお話を聞き、ジュゴンバックヤードツアーに参加します。またジュゴン保護キャンペーンセンターからのお知らせがあります。
- 応募締切/10月20日(金)
- 申込・問い合わせ先/ジュゴンパラダイス三重(担当:野田啓子)
Tel.090-7300-5840(20:00以降)
E-mail dugong.paradise@dance.ocn.ne.jp


 **ハロウィーン フェアトレード・カフェ**

- とき/10月22日(日)13:00～16:00
- ところ/アスト津3階交流スペース
- 内容/ボリビアの有機カカオたっぷりのフェアトレード・チョコレートや一点、一点手作りのフェアトレード雑貨を紹介します。
- 主催/フェア・トレードコーナー抱、ESDin三重


2006年乳がん月間10月1日は乳がん検診の日

乳がん体験者の会
あけほの会三重支部医療相談会

- とき/10月22日(日) 13:30～16:00
- ところ/三重県総合文化センター4階小研修室(生涯学習センター) ●参加費/無料(要予約)
- 内容/乳腺専門医小川朋子先生とともに、術後の不安、お薬の副作用など、ディスカッションしましょう。また、小川先生による個人相談も受け付けます。体験者の方ならどなたでも参加できます。
- 応募締切/10月15日(日)
- 申込・問い合わせ先/小野 Tel.&Fax.0596-25-3426

 **活動をマスコミに取り上げてもらおう!**
広報力アップ講座

- とき/10月28日(土)19:00～20:30
- ところ/松阪市市民活動センター(松阪市日野町788カリヨンプラザ3階) ●参加費/300円
- 内容/新聞に記事が掲載されやすくなるコツや効果的なチラシづくりの方法をタ刊三重新聞社の代表取締役社長、山下至さんと、営業部次長の古屋武之さんに教わります。
- 申込方法/氏名、住所、電話番号、Fax番号、団体名を記入の上、E-mailかFaxで下記まで。
- 申込・問合せ先/松阪市市民活動センター(担当:米山)
Tel.0598-26-0108 Fax.0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp
ホームページ <http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/>

 **三重FPフォーラム2006IN松阪**
無料ライフプランセミナー

- とき/11月5日(日)13:30～15:00

- ところ/松阪市産業振興センター3階(松阪市本町2176番地)
- 参加費/無料
- 内容/ライフプランを考える上で株式投資を選択肢の一つとして考えこれから始めようと考えている人向けのセミナーです。テーマは「FPに聞く株式投資 初めの一步」。講師はファイナンシャル・プランナーであり、FMしみずパーソナリティである赤堀薫里さん。
【同時開催:FP(ファイナンシャル・プランナー)による無料個別相談会】
家計診断・生活設計・金融資産運用・保険、住宅ローンの見直し、住宅、教育、老後資金・年金・相続等承ります。募集人数は先着順18人。相談時間は50分です。
- 応募締切/10月31日(火)
※託児希望者・相談会希望者のみ要予約
- 申込・問い合わせ先/NPO法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会三重支部 Tel.0120-874-018(10:00～16:00 土日祝日は除く) Fax.052-563-4645
E-mail mie@jafp.or.jp

 **国際貢献フェスタinみえ2006**

- とき/11月18・19日(土・日)11:00～17:30
- ところ/アスト津3・4階
- 内容/18日はワールドステージにて世界の音楽と踊り、国際貢献新聞大会、県内NGO活動紹介を行います。両日、フリーディスカッション、ワールドしゃべり場、フェアトレード・カフェ、ワールド・ティー・パーティーとワールド・コーヒー・ショップなども行います。このほか、NGO団体ブース出展・体験コーナー、世界の環境と子どもたちのパネル展示、ワークショップ、講演会なども開催。ボランティアも同時募集中!
- 問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700アスト津3階
国際貢献フェスタinみえ2006実行委員会事務局(県生活部国際室) Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984
E-mail kokusai@pref.mie.jp
ホームページ <http://www.pref.mie.jp/kokusai/hp/>

 **ネットワークのよびかけ**

シニア世代の地域貢献セミナー参加者募集

- シニア世代の豊富な知識・経験を活かし、積極的な地域貢献活動への参画を支援するために、コミュニケーション能力の向上などの基礎的講座のほか、今年度は「次世代育成、子育て支援」に重点を置いたセミナーを開催します。対象は概ね60歳以上の方です。
- とき・ところ/【津会場】平成18年10月17日(火)～平成19年3月6日(火)三重県総合文化センター(津市一身田上津部田1234)
- 【四日市会場】平成18年10月18日(水)～平成19年3月7日(水) 四日市市総合会館(四日市市諏訪町2番2号)
- ※いずれも週1～2日程度、計21回
- 参加費/5000円
- 募集人数/各会場とも75人(応募多数の場合抽選)
- 応募締切/10月5日(木)
- 申込方法/申込書を下記まで。
- 問い合わせ先/株式会社東京リーガルマインド受付センター
Tel.0120-919-381(フリーコール) Fax.03-5913-6409(受付時間:土、日、祝日除く9:30～17:00)

長谷川素逝生誕百年記念

「そせい杯」ジュニア俳句大募集

俳聖松尾芭蕉生誕地の三重県は多くの俳人が傑出しています。なかでも長谷川素逝は昭和の芭蕉と言われ、優れた作品が遺されています。また素逝は後進の指導にもあたりますが、志なかばの39

歳という若さで他界しました。その遺志を継ぎ2006年生誕百年を記念して「はせがわそせい杯」を制定、青少年俳句大会を実施し時代を担う青少年の豊かな感性と創造性を育む、日本伝統文化の俳句を全国及び海外の青少年と共有し学び合う場とします。

- 応募締切/10月16日(月)消印有効
- 応募規定/青少年の未発表の俳句。一人何句でも応募可。所定の応募用紙(コピー可)またはハガキ1枚に1句。インターネットからも応募できます。
- 応募先/514-1135 津市久居本町1570 「はせがわそせい杯」青少年俳句大会実行委員会 ホームページ(芭蕉俳句文学館) <http://www.ztv.jp/lpa6pof/>
- 【小学生向けワークショップ及び俳句教室】
- とき/11月3日(金・祝)10:00~12:00
- ところ/津市ポルタひさい3階研修室(近鉄久居駅ビル)
- 主催・問い合わせ先/NPO法人芭蕉俳句文学館「はせがわそせい杯」青少年俳句大会実行委員会 Tel.059-255-2651 E-mail mituno@ztv.ne.jp

平成18年度くらしの講座

消費生活に必要な知識や情報を提供することにより、消費者一人ひとりが自立した消費生活を営むことができ、地域において中心となって消費活動の取組みができる消費生活地域リーダーを養成することを目的に、開催します。対象は受講意欲のある方で8割以上受講可能な方。

- とき・プログラム/10:00~15:00
- 10月14日(土)「開講式」「自立した消費生活をめざして」
- 「三重県消費生活センター見学」「契約とは」
- 10月28日(土)「知って安心、暮らしの中の法律」
- 「こんな手口にご用心(悪質商法のいろいろ)」
- 11月11日(土)「振り込め詐欺について」
- 「インターネットと携帯電話のトラブル」
- 11月25日(土)「主な金融商品の基礎知識とチェックポイント」
- 「クレジットの基礎知識」
- 12月2日(土)「住宅のトラブル」「生命保険の基礎知識」
- 12月16日(土)「食の安全と消費者の信頼確保」「くらしと金融」
- 「閉講式」
- ところ/県栄町庁舎4階研修室(津市栄町1丁目954番地)
- 参加費/無料 ●募集人数/50人(応募者多数の場合抽選)
- 応募締切/9月28日(木)
- 申込方法/郵送またはFaxで下記まで。
- 申込・問い合わせ先/514-0004 津市栄町1丁目954番地 三重県生活部消費生活室 Fax.059-224-3372

助成金 ニュース

(財)ポーラ美術振興財団各種助成

- 受付期間/10月2日(月)~11月13日(月)消印有効、ただし、11月20日(月)までに必着のこと。
- 助成の対象/1、若手芸術家の在外研修、2、美術館職員の調査研究、3、美術に関する国際交流…A、海外美術展、B、国内開催の国際会議
- 助成対象事業の期間/平成19年4月1日~平成20年3月31日
- 応募方法/A4サイズが入る返信用封筒(140円切手を添付)に返信先と希望する対象分野を明記し、下記まで申請書を申込むか、ホームページからダウンロード。申請用紙は必ず郵送してください。
- 問い合わせ先/(財)ポーラ美術振興財団 141-8523 東京都品川区西五反田2-2-3 Tel.03-3494-8237(代) Fax.03-3493-6293 ホームページ <http://www.pola-art-foundation.jp/index.html>

麒麟福祉財団

- 受付締切/11月22日(水)消印有効
- 助成の対象となる団体/地域でのお子様に関わる、福祉活動を目的とす

る民間団体で、4名以上のメンバーが中心となって活動するグループ。法人格の有無は問いません。

- 助成の対象となる活動/「地域における子育てに関わるボランティア活動」「地域」「子育て」「ボランティア」をキーワードとし、地域における、お子様に関わる幅広い活動。
- 助成の額/総額3000万円。1件あたり上限は30万円。
- 助成の期間/平成19年4月~平成20年3月
- 応募方法/申込用紙に記入し、添付書類と共に郵送。用紙は下記に請求するか、ホームページからダウンロード。
- 申込・問い合わせ先/(財)麒麟福祉財団事務局 104-8288 東京都中央区新川2-10-1 Tel.03-5540-3522 Fax.03-5540-3525 ホームページ <http://www.kirin.co.jp/foundation>

日本財団2007年度助成

- 受付期間/[1.海や船に関する事業]10月2日(月)~10月31日(火)
- [2.文化、教育、社会福祉等に関する事業]財団法人・社団法人・社会福祉法人10月2日(月)~10月31日(火)
- 文化、教育、社会福祉等に関する事業 NPO法人・ボランティア団体(任意団体)11月10日(金)~12月11日(月)
- 助成の対象となる団体/財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人(特定非営利活動法人)、ボランティア団体などが行う非営利活動・公益事業。
- 助成の対象となる活動/重点テーマは以下の通り。
- [1.海や船に関する事業](1)船舶、海運に関する技術の研究・開発と産業の基盤強化。(2)海洋に関する研究及び情報・体制の整備。(3)航行の安全確保及び海上災害対策。(4)海・船に関する国民の理解促進
- [2.文化、教育、社会福祉等に関する事業](5)改修による福祉拠点の充実。(6)犯罪被害者、自殺者家族に対する支援。(7)ホスピスケア充実のための活動。(8)子どもの健全育成。(9)郷土の資源と先人の知恵を活用した地域づくり。(10)森林・竹林整備や里地・里山の保全。(11)ハンセン病制圧活動の推進。(12)生涯スポーツの充実。(13)伝統文化・芸術を次世代へ継承する取り組み。
- 対象事業の期間/平成19年4月1日~平成20年3月31日
- 助成の額/[1.海や船に関する事業]NPO法人補助率80%以内、上限なし。ボランティア団体補助率90%以内、上限100万円。
- [2.文化、教育、社会福祉等に関する事業]NPO法人・ボランティア団体共に補助率90%以内、上限100万円。※その他の団体はホームページをご覧ください。

日本財団2007年度改修・改装事業

- 【改修による福祉拠点の整備】
- 受付期間/11月10日(金)~12月11日(月)
- 助成の対象となる団体/NPO法人、任意団体。
- ※財団法人、社団法人、社会福祉法人にも同様の助成事業がありますが、受付期間が違います。詳しくはホームページをご覧ください。
- 助成の対象となる活動/(1)既存建物の改修による新規拠点の整備。(2)既存福祉施設の一部改修による新規福祉サービス拠点の整備。(3)既存福祉施設の改装。
- 対象事業の期間/平成19年4月1日~平成20年3月31日
- 助成の額/(1)NPO法人…助成率90%以上、上限500万円か、100万円(上限500万円の事業は、障害者自立支援法で定められた福祉サービス(地域生活支援事業を含む)を提供する施設、介護保険による小規模多機能型居宅介護事業所を整備するものを対象)
- 任意団体…助成率90%以上、上限100万円。
- (2)NPO法人…助成率90%以内、上限100万円。(任意団体助成無し)
- (3)NPO法人・任意団体とも…助成率90%以内、上限100万円。
- 応募方法/(両助成とも)申請書を郵送または宅配便などで送るか、インターネット上で申請書を作成し、申請。
- 問い合わせ先(両助成とも)/日本財団「2007年度助成金申請書受付係」または「2007年度改修・改装 申請係」 107-8404 東京都港区赤坂1-2-2 Tel.03-6229-5111
- ホームページ <http://www.nippon-foundation.or.jp/>
- (申請用)<http://portal.zaidan.info/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858 ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

今月特集

NPOの支援って、みんなどうしているのかな? 第2回 市民活動(支援)センター会議

情報交換会の概要

9月6日にNPO室の主催で、県内8地域の公設市民活動(支援)センターの担当者、市町のセンター設置担当課の方が28名参加し、第2回の情報交換会を行いました。

今回は、①市民活動(支援)センターの各自治体における位置づけ、②協働の推進体制、③中間支援の取組み、④NPOのマネジメント相談など、支援を行うための環境や具体的な支援内容といったそれぞれの関心事について情報交換しました。

共通する課題

“市民活動”は担当課の業務といった縦割り意識が庁内に存在し、協働の推進に関しても企画部門でないと全庁的に取り組むのが難しいといった意見が複数聞かれました。NPO室からは、「事業報告書からみる三重県のNPO法人」2005年調査報告もありました。

次回は11月頃に予定しています。



全員の顔が見えるように変型ダイヤモンド型の斬新なセッティング

中間支援 中間支援組織担当者ネットワーク

2ヶ月に1度開催される中間支援組織担当者ネットワーク交流会は、市民活動の支援に関わる民間団体、行政が集う場です。9月は10団体15名の参加がありました。今回は、6月に成立した公益法人の認定基準に焦点をあて、NPO室から特定非営利活動促進法と共通する点、違う点など説明がありました。その他、ブログの活用方法、NPO支援に役立つ資料、シニア世代に向けたボランティア啓発の取組みなど、行っている事業や取り入れている工夫を話し合いました。事前申し込みがなくてもご参加いただけますので、市民活動やNPOの支援について関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。



地域情報 めいわ市民活動サポートセンター

8月11日午後4時から5時までジャスコの明和店でもイエローレシートキャンペーンがあり、めいわ市民活動サポートセンターも参加しました。



イエローレシートとは?

イオングループの社会貢献の日(毎月11日)に「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」として実施しているものです。商品購入の際に受け取った“黄色いレシート”を、地域のボランティア団体等の名前が書かれた専用BOXに投函していただき、レシート合計の1%をイオンがその団体へ商品で還元するというシステムです。あなたも参加しませんか?

◇協働勉強会
日時：10月5日(木)午後1時30分～4時30分
◇交流会
日時：11月7日(火)午後1時30分～4時30分
※どちらも場所は、みえ市民活動ボランティアセンター

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。聖十字病院の緩和病棟でボランティアをしている四日市市の鈴木愛子さんが紹介してくれたのは、鈴鹿市の林 沙苗さん。趣味である絵手紙をボランティアに活かし、デイサービスやホスピスなどで指導しています。

趣味の絵手紙をボランティアに活かして…

……ボランティアを始めたのはいつ頃ですか？

今から16年ほど前、子どもが幼稚園に入った頃です。時間が少してきたので、前からテレビなどで見て興味を持っていた認知症の方とふれあえるボランティアを探しました。近所にある介護老人福祉施設で買物の付き添いや行事のお手伝いなどをしていたのですが、子どもが小学校に入学したのを機にそこに勤め出しました。そのうちに介護の勉強がしたくなり、菟野にあった介護の専門学校に通いました。この学校は今も無いのですが、保育士の免許があれば1年で資格が取れるということでしたので「よし、1年なら通えるぞ!」と思って、資格を取らせていただきました。

……現在の活動内容を教えてください。

津市のNPO法人憩いの汀(みぎわ)さんのデイサービスと七粟サナトリウム、あと鈴鹿市の公民館で絵手紙の指導をさせてもらっています。

……月に何回くらい行っているのですか？

毎週火曜日はボランティアをする日と自分で決めて、第1週は七粟サナトリウム、残りは憩いの汀さんにお邪魔しています。公民館の講座は月2回ほど行っています。

……絵手紙の活動はいつ始めたのですか？

憩いの汀さんには5年ほど前から、七粟サナトリウムには2年ほど通っています。

……どちらもお住まいのある鈴鹿市の施設ではありませんが、どうやって知ったのですか？

新聞を見て「ここ!」と思った所に行っているだけです(笑)。病気を患って、入院したのですが、憩いの汀さんの記事は手術する前に読み、「元気になったら行きたい」と思いました。ホスピスに興味を持ったのは私の病気がガンの一種だったからです。七粟サナトリウムの記事を見た時に「これは行かなくちゃ」と勝手に思いこんで出かけたのが始まりです。憩いの汀代表の西口さんも、七粟サナトリウムと一緒にボランティアさせていただいている上野さんも好きですし、どちらも居心地がいいので楽しく続いています。

……人との出会いも魅力のようですね。

ボランティアを始めてから、これから先もずっとつきあっていきたいなと思う人とたくさん出会えましたね。先方がどう思っているかは知りませんが(笑)。今回、インタビューのバトンを回してくれた鈴木愛子さんも含め、私がそう感じた方たちは皆さん女性ですけど、信念

を持ってひとつのことをやっているというか、活動にウソが無い。言動と行動が同じなのが魅力的ですね。

……絵手紙を始めたきっかけは？

介護の仕事をしていた時です。一人の利用者さんとの出会いがきっかけで、この方がもっと元気になり、目を輝かせることはないかと考えていた時、その方が以前、日本画をされていたことを知りました。それで、その方と一緒に本などを見ながら絵手紙を描き始めました。当時、絵手紙というものは知っていましたが、私自身は描いたこともありませんでした。

……指導の資格などはあるのですか？

日本絵手紙協会の講師資格を取りました。最近は一とくちに絵手紙といってもいろいろな物があって、中には塗り絵のような物など、絵手紙を始められた日本絵手紙協会会長の小池邦夫先生の考えからははずれた物もあります。講師資格は小池先生の「ヘタでいい、ヘタがいい」というモットーをきちんと伝える人材を養成するために作られたそうです。資格取得は単位制になっていて、私が取った時は60単位が必要でした。絵手紙や感想文などの提出物のほか、月に1回ほど、大阪までスクーリングに通いました。当時、家から一番近いのが大阪の教室でしたから。

……病院とデイサービス、公民館。それぞれ指導も変えているのですか？

デイサービスの場合、認知症の方も多いので、その方の生活歴なども知りながら、常に寄り添いながら接するようにしています。言葉かけもそれをきっかけに行ったりしています。それに年輩の方は絵は上手に描かなければいけないと思っていらっしやるので、楽しく描けばいいということを伝える方法を考えています。学校では絵でも書道でも成績がつけられたでしょう?でも絵手紙はそうではなく、自分らしい手紙が描けたらいいのですから。今は昔のことを思い出してもらえようなお話などをして、そこから絵を描きだすなどいろいろやっています。例えばカボチャを描いてもらう時にも「さあ、描きましょう」ではなく、実物を触ってもらったり、農業をしていた方なら「これはどうやって作るの?」というお話をしたりしています。

……単に絵を描くだけでなく、ふれあいがあるのですね。

特に認知症の方は、周囲との関わりと絵を描くことがセットになっていると思います。昔のことを思い出してもらう方法は回想法といいます。私は介護福祉士でしたから、認知症のことなどは少し専門的な勉強もしていますので、それを活かすようにしています。なかなか難しいところもありますけどね。

……仕事で得た知識が活かされているのですね。

認知症の方は一般の方とちょっと導き方が違いますね。症状がある程度進んでみえる方でもいい味の絵を描かれたり、絵に添える言葉にしても、凄くいい言葉を書かれる方がみえますよ。

……絵手紙の場合、評価することが難しいのでは？

いいところを見つけて差し上げるという感じかな。もちろん順番をつけたりはしませんし、その辺り私が絵手紙を好きな理由です。自分らしい、自分にしか描けない絵手紙ができればいいですね。

……七粟サナトリウムでの活動は？

体力的にも絵を描くことが無理な方もいますが、ここで最後の手紙を書いてもらえるのではないかと、私は思っています。手紙は後に

林 沙苗 さんに 聞く



残りますしね。ある方は「もうすぐ妻の誕生日だから」とおっしゃられて、病室で一緒に描かせてもらいました。今までプレゼントをしたことがないとおっしゃってましたから、多分それが一番最後のプレゼントになったと思います。別の方は病室に絵手紙が飾ってあったので「描かれるのですか?」と尋ねたら、お姉様が描かれているとのことでした。私が七栗サナトリウムを訪れる日にお姉さんも参加して、一緒に描こうと約束していたのですが、突然具合が悪くなられて実現することはできませんでした。でもその後、お姉様から「絵手紙、楽しくやっていたみたい」と教えてもらいました。その他にもお孫さんに送りたいと言う方もいました。多分、身体は辛かったと思うのですが、一緒に筆を持って、お魚の絵を3枚ほど描きました。

ボランティアって、 お互い様だと思います。

……最後の手紙と考えると、一緒に描く林さんにもプレッシャーのようなものがあるのでは?

始めた頃は病室に入るのも平気だったのですが、途中から自分はこの病室に入る資格がある人間であるのかと思うようになってきました。今は看護師さんたちが好意的に皆が集まる部屋に連れてきてくださいますし、お部屋で描きたいという方は私が訪れるようにしています。

……こちらでもコミュニケーションを取りながら?

人が集まってくれば自然にお話もしますし、家族の方にも来ていただいています。看病されているうちに煮詰まってしまう方もいます。そういう方が少しの時間でも病気のことを忘れるというか、休める、痛みが和らぐものがあればいいと思います。私は絵手紙をやっていますが、絵手紙じゃなくても何かあればね。私ももし入院している立場だったら、最後にいろいろな物に挑戦する機会があればいいなと思います。体力的には無理かもしれませんが、いろいろなことに接することだけでもできればね。

……公民館の講師は市の方から声がかかったのですか?

いえいえ、自ら行ってしまいました(笑)。絵手紙の関係でも荒木万里さんという魅力的な人に出会って、その方が「ダメよ沙苗ちゃん。資格を取ったら、動かさなきゃ」って背中を押してくれて、そのまま公民館へ行っちゃいました(笑)。私、自分からはなかなか行動できないのですが、いつも人が背中を押してくれるのです。本当にいろいろな方との出会いがあって、今があると思います。でも何よりも家族でしょう。専門学校やスクーリングにも通わせてもらいましたし、本当に家族、特に夫には感謝しています。

……指導するのも大変でしょう?

絵手紙を指導する方は、ほとんどが自分より年上の先輩ばかりですから、私ももっと勉強しないとイケないって思います。そしていつも皆さんからいろんな事を教えていただいています。ありがたいことです。ボランティアでも、公民館でも行くと自分も楽しいし、エネルギーになりますね。私、ボランティアってお互い様だと思います。人間、誰でもいつか年をとっていきます。だから、できないことは少し手助けをする、自分もできなところは手伝ってもらおう。そういうお互い様ができれば、世の中ももっと変わるのって思います。

この世にたった1枚の絵手紙

……画材は何を使うのですか?

色は顔彩という日本画の絵の具を使います。墨は青墨というちょっ

と青みがかった墨と顔彩が相性がいいので、それを使っています。不思議なことに心穏やかにして擦ると墨の色も違ってくるのです。でも別にペンや鉛筆で書いてもいいのですよ。

……絵手紙を始めて変わったことはありますか? 小池先生は「常にアンテナを張っておきなさい」っておっしゃってます。絵

手紙って見た物を正確に描くのではなく、自分が感動した部分を大きく描くなど、心を動かされたところから描いていくものでしょう。だから、絵手紙を始めると物の見方が変わってきますね。一つの花でも上から見たり、横から見たり。いろんな角度から見るように、いろいろな物をいろいろな角度から一生懸命見てしまいます。その辺が以前と比べて変わったかな。

……絵手紙の上達の秘訣は?

数多く描くことでしょう。線に集中して、何枚も描く内に自分らしい絵手紙が描けるようになります。小池先生は「自分らしい絵を描きなさい。自分の心を伝えてください」って言いますね。後は人に送ること。絵手紙は絵のついた手紙ですから、ポストインしないと意味がありませんから。だから、自分が描いた絵手紙って手元に無いの。みんな人の所に行っているから。自分の絵手紙展を開く時には一時、返してもらいます(笑)。

……絵手紙を送るのはお友だちとか?

お友だちもありますし、会ったことも無い全国各地の方とも交流しています。日本絵手紙協会の友の会に入会すると交流希望のメンバーの名簿が見られるので、そこから選んで絵手紙を送っています。メンバーは全国に3000人ぐらい。年1回、全国大会があるので、そこで会うこともあります。皆さん、交流は楽しみだと思し、刺激ももらえます。凄い絵手紙をもらうとすぐに出さなきゃって気になりますよ(笑)。会ったことも無い人に、そうやってエネルギーをもらえる。なんだか不思議ですね。それに絵手紙を見ていると会ったことの無い人でも、だいたいどんな方なのかわかってきますよ。

……どのくらいの頻度でやりとりしているのですか?

一日おきぐらいに届くかな。ポストの音が鳴ると「来たかな」って(笑)。十数人の方と交流していますから重なってくることもありますし。逆にいえばそれぐらいのペースで出しているということですね(笑)。絵手紙を描いていると時間もあっという間に過ぎます。私は夕方、台所で描くことが多いのですが、常に近くに道具を置いておくことも長続きさせるコツでしょうね。

……手描きですから1枚限りですよ。

それがいい。この世にたった1枚で、手描きというのがやっぱりいいなと思います。E-mailなど、世の中の流れとは逆ですけど、そこがまたいいかな。これから年賀状の時期になるので、絵手紙仲間は大変で、一時、絵手紙が来なくなるの(笑)。

林 沙苗さんはこの人を紹介します。

野殿照子さん

自殺防止の相談電話、三重いのちの電話協会でボランティアをされています。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

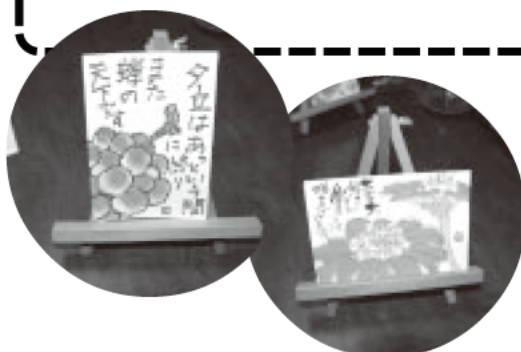
(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

8 **R100** PRINTED WITH SOYINK 古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。



林さんが描かれた絵手紙。



林さんに送られた、交流仲間からの絵手紙。